

空き家管理

庭木管理の手引き

越境・落ち葉・ハチの巣によるトラブルを防ぐために

1 剪定の目安



高さ
2~3m 程度まで

- ・2mを超えると脚立が必要になり危険度が増します。
- ・3m以上になる場合は業者への依頼を推奨します。



建物との距離
1~2m 以上あげる

- ・枝や根が建物に触れると、外壁や配管を傷める原因になります。



隣地・道路側との境界から50cm~1m以上

- ・枝が越境しないよう、余裕を持って大幅に切ることをお勧めします。

2 剪定のポイント

- ✓ 高さを抑える ▶ 一番高く伸びている成長点を適した高さで切り、上方向への成長を止める
- ✓ 建物・隣地に触れる枝は根元から切る ▶ 枝葉が家の窓や外壁、隣の家や道路に触れている場合は、付け根から切断し、トラブルを防ぐ
- ✓ 枯れ枝・害虫の枝を除去 ▶ 放置すると倒木や害虫の発生につながる
- ✓ 全体的に短く切り戻す ▶ 枝先を少し切る程度ではなく、枝を半分程度に短くしてボリュームを減らす

3 注意点とアドバイス

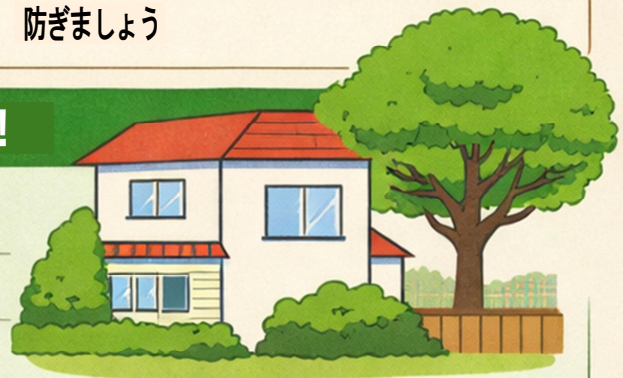
- ✓ 高さ3m以上や太い枝がある場合は業者に依頼
- ✓ 剪定の時期は春(3~5月)か秋(9~11月)が適切
- ✓ 防草シートや除草剤で雑草対策もあわせて行う

4 ハチの巣を作らせないために

- ✓ 枝が密集すると巣を作られやすくなります
- ✓ 剪定で風通しを良くし、ハチの巣や害虫の発生を防ぎましょう

5 空き家にする前にしっかり対策を！

- ✓ ご近所トラブルを防ぐ
- ✓ 害虫やハチの巣の対策
- ✓ あとから高額な撤去費用にしないために



「少し短すぎるかな」くらいが安全な対策です！

年1~2回の管理・お手入れで、トラブルを未然に防げます